

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024~2025年度 No.296

## 8 月報

那須クラブ会長 主題

### ユースと共にミッションを



強調月間：戦略2032

**今月の聖句** ヨハネによる福音書15：1～10  
わたしはまことのぶどうの木、私の父は農夫である。わたしにつながっているが、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。…後略…

### 8月第1例会（納涼例会・講師講話）

日時：8月31日（土）正午から  
場所：原田 明子メン宅（塩谷町田所2490）  
ユースリーダー参加へのお誘いとゲストの招待。  
ゲストスピーカーより、子ども食堂の活動についてのお話を聞き、子ども食堂への支援について考える。

開会点鐘・挨拶 司会 村田 榮 副会長  
会長 田村 修也  
ワイズソング斉唱  
ワイズの信条の斉唱  
聖書朗読・祈禱 司会者  
ゲスト・ビジター紹介 会長  
自己紹介  
食前祈禱 田村 暁美 メネット  
会食（そうめんパーティー）  
講話 西那須野における子ども食堂について  
古川 勢子 姉（西那須野教会役員）  
質疑応答  
報告事項 YMCA・ワイズ  
YMCAの歌  
閉会挨拶・点鐘 会長 田村 修也  
会費 メン・メネット 1,000円 ゲストは無料

台風の影響で中止

2024~2025年度 主題

国際会長：(IP) A・シャナヴァスカーン (インド)  
「より良い世界のために、共に」  
アジア太平洋地域会長：(AP) ジョウン・ウォン (香港)  
「大きなインパクトを起こそう」  
東日本区理事：(RD) 山田 公平 (宇都宮)  
「ワイズの方向性を見極める」  
北東部長： 大久保 知宏 (宇都宮)  
「戦略2032を意識して」

### クラブ役員

会長：田村 修也  
副会長：村田 榮・  
書記：藤生 強  
会計：村田 榮・鈴木 保江  
担当主事：塩澤 達俊  
ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 7月例会データ（出席率：57.1%）

在籍者 7名  
メン 4名、メネット2名

### 8月 Happy Birthday

ありません

### とちぎインターナショナルチャリティーラン

日時：9月1日（日）午前9時～  
場所：道の駅うつのみや ろまんちっく村  
9月例会（ユースリーダーのミッション協議）  
日時：未定  
場所：日本キリスト教団西那須野教会  
北東部大会  
日時：9月28日（土）  
場所：仙台での予定

台風の影響により中止

## 巻 頭 言

田村 修也

今年も8月を迎えて、6日には広島、9日には長崎のそれぞれのテレビ放映に合わせて、第79回目の原爆慰霊式典に参加いたしました。平和宣言に込められている願いが1日も早く現実のものとなり、核の脅威から解放されるように祈ります。

私の所属しております西那須野教会では、8月の礼拝を平和月間として、使徒信条に換えて平和の祈りを会衆全員でささげています。第1週の礼拝では「聖フランシスの平和の祈り」を捧げました。ユネスコ憲章の全文には「この憲章の当事国は、この国民に代わって次のとおり宣言する。戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人心の中に平和のとりでを築かなければならない。・・・」と宣言されています。

私が10代の頃には「インドりんご」というりんごがありました。今では殆どみることが出来ない品種です。堅いりんごで光沢がありました。インドにりんごが栽培されているのかと思っていました。しかし、最近になってふとした機会に「インドりんご」の由来を知ることが出来ました。それは、鈴木和男牧師の編・訳による「日々の聖句による366日の聖務日課■神学歳時記 あなたもお読みでしたか・・・」のある日の神学歳時記にこの「インドりんご」の由来が書かれてあったのです。

そこには、このような記載がありました。「インドりんご」は津軽の青年たちに初めて西洋りんごを食べさせた東奥義塾のアメリカ人教師ジョン・イングが、故郷のインディアナ州から取り寄せたものでした。その青年たちの何人かが食べた後の種を密かに懐に入れて持ち帰り、自宅に蒔いたことに由来するとありました。「王林」や「むつ」の親として、我が国のりんご育種に大きく貢献しているというのです。

東奥義塾は江戸時代に津軽藩の藩校として設立され、明治5年に私立学校として開校され、翌年の明治6年には東北地方初の米人教師が就任しています。ジョン・イングです。このインディアナ州のりんごが「インドりんご」として流通して行ったのでした。わずか数粒の隠し持たれたりんごの種が、想像を超えた実りをもたらしたのでした。

那須ワイズも、1995年設立以来、青少年のためにYMCAにつくす活動を進めてまいりました。那須地域にある唯一の国際医療福祉大学に、全国から集う青年や地域の青年によるユースリーダーの活動や、大田原・西那須野地区にある公立高校生のボランティアスクールの開催などを通して青少年との交わりを深めて参りました。これらの活動はわずか数粒の種のようなものかも知れませんが、YMCAに出会った方々がどのような実を豊かに結んでいるか計り知れません。昨今は青少年の顔が見えず、交わる機会も少なくなっていますが、あらゆる機会を通して青少年のためにYMCAにつくしてまいりましょう。



7月キックオフ例会 田村会長宅 2024.07.13

## 7月例会（キックオフ・担当主事歓送会）報告

日時：2024年7月13日（土）正午

場所：田村修也会長宅

出席者：田村、原田、塩澤、村田各メン。田村、村田各メネット 計6名

7月の例会は、キックオフ例会として、ユースリーダーの招待を計画していたが、メンバーの参加が少なく、リーダーの参加がないので、会場をお借りして行うのは申し訳ないので、急遽、田村会長宅に変更した。



例会に入る前に、河野会長が体調不調により、6月末で退会されたことによって会長が変更となった。会長交代により会長バッチの装丁を原田メンが那須

ワイズを代表して行った。

担当主事の交代に伴い、塩澤達俊総主事より、挨拶があった。その後、原田メンの食前感謝、各自持ち寄りの1品とテイクアウトした丼で会食した。

会食後、2023-2023年度事業報告が田村会長より行われた。河野前会長が勧められてきた、ユースリーダーとの協働が頓挫しないように活動が進められることを祈りたい。又、第27回東日本区大会での「地域活動・YMCAサービス事業特別賞」に恥じないようにしたい。その後、田村会長より、2024年—2025年度の活動計画の説明があり、ユースリーダーとの協働するために9月例会をミッション協議（那須地域におけるユースリーダーの自主活動の支援について）としたいとの願いが熱く語られた。この1年がユースリーダーとともに進む那須ワイズとしたいものです。

河野さんの体調が癒されて、クラブに復帰してくださる日が来るように祈りましょう。

8月納涼例会を原田メン宅で行うことも決めた。

## 8月第2例会（役員会）報告

日時：7月26日（金）午後4時30分から

場所：田村会長宅

出席者：田村、村田各メン、田村メネット

協議事項

### 1. 7月例会について（反省）

リーダーの参加がなく、リーダーとのつながりを模索する必要を感じた。

### 2. 8月納涼例会について

8月31日（土）正午より原田メン宅で行うことを承認。食事は、各自1品持ち寄りとしソーメンパテ

ィーを行う。古川勢子さんを講師に迎えて、西那須野における子ども食堂についてお話を聞き、支援について考える。ゲストに多くのユースリーダーを迎えたい。

講師謝礼は、3,000円、子ども食堂に10,000円の寄付を行う。

### 3. 東日本区サポートファンドについて

各クラブの流れを見ながら考えることにした。

## なぜサポートファンドなのか？

（東日本区支援特別献金）

### 厳しさを増す東日本区財政

ワイズメンズクラブ東日本区は5年続けて財政的に厳しい状況となっています。主な原因は、入会者より退会者が多いことが続き会員が減少していること。ここ数年為替レートにより、国際会費では同じ金額であっても50%近く負担が大きくなっていて、収支がとれなくなっています。それはあまりにも急激な変化でした。

### 必ず夜明けは来る その日のために

この危機に対応するため2024-25年度の支出予算で、区役員手当を半分にし、研修等の交通費補助や旅費も含めて大幅な歳出削減に乗り出しました。しかし限られた時間の制約の中で努力にも限界はあります。体制、財政の安定化を実現するまでの期間、サポートファンド（東日本区支援特別献金）としてみなさまの出来る範囲での支援をお願いいたします。目標額は120万円です。東日本区が行う最低限の活動に不足する部分をおこなうために用いられます。個人として、あるいはクラブとして一01万円以上の献金をお願いできませんか。

理事の下に財政健全化タスクフォースを立ち上げ、財政の確立のためにあらゆるタブーを排して検討を進めるとともに、ワイズとは何かを明確にし、皆さまと共にまわりに訴えながら新たな会員獲得に乗り出します。ワイズメンズクラブが持つ普遍的な価値がある限り、必ず道は開けます。それを信じ今という試練の時に我々に力をお与えください。宜しくお願い申し上げます。

2024年7月15日 ワイズメンズクラブ東日本区理事 山田公平

### 4. チャリティーランへの寄付金について

9月1日に行われるチャリティーランに、那須クラブとして、10,000円の寄付金をする。また、シイタケ昆布の販売を行う。

### 5. 9月第2例会（役員会）について

8月23日（金）午後4時30分より田村会長宅で行う。内容は、8月例会の最終打ち合わせ。9月例会についての打合せ。

### 6. その他

平山 雄大前担当主事は、11月24日（日）に結婚式を挙行されるとの嬉しいニュースが田村会長よりあった。おめでとうございます。

シイタケ昆布をチャリティーランに間に合うように仕入れる。

## 三島開拓地での孤児教育事業—本郷定次郎の生涯— (10)

会長 田村 修也

育児暁星園主逝く

多年肺患に悩み、右肺は全く破れ、左肺僅かに残るといふ園主定次郎は、ついに東洋内科医院（院長高田耕安全）に入院、明治三十二年五月十八日享年三十四歳、夫人ヒデ子は涙にかきくれながらも毅然として孤児数十名の養育と、亡夫の志を継ぐ誓いを固めた。

「暁星園要則」によると、  
第一目的 天下無告の孤児を救済し、其父母に代り

て養育することを目的とす。

第二入院 六才以上十二才以下とし何国を問わず幾名にても入院を許す。

第三教育 児女既に一定の年令に至れば晝間は実業に従事せしめて自活の道に進め夜間は文学技芸を学ばしむ

第四維持 天父の冥助と園内各自の労働と下有志の義捐金品とに由り維持拡張すとあり、孤児院設立から約十年間、ここを巣立った子どもは延べ二百余名とされている。これらの児童を処遇するところの要則は、彼自身が起案したもので、教育と労働によって自立できる人間に育てるため、当時としては立派な教室、実習農園、作業場を備えた経営であった。

「入院は何国を問はず」「幾名にても入院を許す」とあって、定数、国籍、更には身体障害を児った者も居て、社会事業の先見実践を取り入れている。経営維持は「天父の冥助」と最初に述べて神の援けなしには経営できない旨を唱っている。

夫人ヒデも不幸にして肺患の犯すところとなり夫の死後一年翌三十三年八月十九日二十五歳を以って亡夫のあとを追って昇天した。夫定次郎は遺言として次の如く言っている。

「長女成長の後は孤児院の母となし、次女はその教師たらしめ、末子は医業を修めしめてまた孤児院の医師となさせよ。」(佐藤一誠「忘れられたる暁星園」明治三十四年刊)

本郷定次郎の葬儀を報じた、下野日々新聞の「悲懐一片」は佐藤一誠の新聞記者としてまた友人として熱涙こめて報じたものである。

去る二十日予の京に着するや永き眠りに入れる愛友に逢うべく直ちに馳せて神田美土代町なる暁星園に至れり、未亡人ヒデ子は面を蔽ふて亡き伏しぬ而して懐裡の遺孤は生れて漸く百日何事をも知らずして呱呱として乳を求むるのみ

靈南阪教会に到る彼を悼み彼を送るべく会せられたる朝野の貴紳内外の知友已に席に満ち更に加はりしもの幾何曰く子爵三嶋弥太郎、曰く子爵山内豊尹、片岡健吉、西原清東、中島力蔵、渡辺暢、小崎弘道、本多庸一、綱島佳吉、堀貞一、石井十次、原胤昭、生江孝之、徳富久子、徳富静子、矢島揖子、潮田千勢子、ホイットニー、グリーン、ジョンズ、その他名ある人、心ある人、誠ある人、徳ある人は多くここに会せられぬ。

悲しげに高く場の一隅より起れる奏楽は、岡山孤児院音楽隊來つて帝都にあり、彼等は厚意をもって我等の友を送るべくここに吹奏する也、東西立つ所を異にせるも孤児院主逝ける時孤児院の人々の図らずも特に送らるるに逢ふ。次いで子爵三嶋弥太郎君起てり、君は育児暁星園に対して最も熱心に最も誠

実なる同情者たり、現に那須野ヶ原なる暁星園は君の援助と勧誘によりて君の開墾地なす三島の孤村に立てたるもの、爾来幾年未だ曾って休むなく怠りなく大なる助けを与えられ、又東京支部の如きは令弟弥六氏逝去の折記念として寄附されたるものにして弥六館の命名ここに基く、満場高き同情者の言ふところに聴くべく耳をそばだてぬ。

(以下次号へ)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

年中組と年長組のサマーキャンプを終えました。

東電原発事故から10年間、幼稚園キャンプ場の放射線量が思ったより下がらないので3年前にキャンプ場にある建物を解体しましたが、キャンプの方は園舎でやり続けています。

さて、国立独立行政法人青少年自然の家からの報告によると「校外学習の宿泊や食事を共にするという経験によって、友達との友情が深まるばかりではなく、教師との信頼関係が築かれる」という研究成果が報告されています。

このことは、幼稚園のサマーキャンプにおいても同様です。「同じ釜の飯を食う」、「寝食を共にする」体験は尊いことです。子どもにとっての友達は数よりも、むしろ、一人でも二人でも、好きな友達が出来ることが大切です。その為には、「友達っていいな」体験の積み重ねが必要です。日常保育、ピクニックでも十分に蓄積される体験ではありますが、地域社会が崩壊した現在、キャンプは、まさにそのような機会の量と質が保証される得難い良い体験です。キャンプを終えた朝の自信に満ちた子ども達の笑顔は、たった一晩の経験ですが、少しお兄さん、お姉さんの顔になっています(次の週にはまた戻っていますが)。

園を信頼して参加させていただき感謝いたします。

## アジア学院だより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

副校長 大柳由紀子

暑い日が続き、学生たちがやや疲れ気味です。熱帯地方から来ていることが多いアジア学院の学生ですが、日本ほど湿度が高くないので体感温度が違うそうです。

カリキュラムとしては、6月上旬に首都圏でのホ

ームステイプログラムがありました。日本基督教団婦人会連合によるこのホームステイは、創立当初から続いていたもののコロナ禍でいったん休止していたもので、実に5年ぶりの再開となりました。学生もホストファミリーもとても楽しんだプログラムとなりました。また見学研修が始まり、県内外での研修がありました。学院以外を見学をすることで、視野を広げるのが目的です。

7月には西那須野幼稚園や大田原高校での交流会を行いました。またイベントとして「日本文化の日」を実施、バプテスト連盟からの浴衣贈呈、折り紙や生け花の体験、さらには今年初めて民謡と三味線を楽しむ機会を得ました。アジア学院という、日本とはやや離れた環境にいる学生たちは、初めてともいえる「日本文化」を満喫する一日となりました。

7月後半には夏季個人研修として、自分でプロジェクトを決めて実行する週がありました。農家研修に出る者、学院職員から話をきいて組織マネジメントやリーダーシップについて学ぶ者、図書館業務について学ぶ者、石けんづくりや食品加工を自分でトライする者、学院のやり方とはちょっと違う肥料づくりに挑戦する者と、さまざまなユニークな試みがあちこちで繰り広げられていました。

学院の研修はちょうど折り返し地点、まだまだやりたいこと、学びたいことがいっぱいの子供たちに答えていく日々です。

研修内容（6月～7月）：日本語と日本文化、養鶏、報告書作成指導、傾聴、持続可能なプロジェクト、生産者と消費者の提携、財源確保のダイナミズム、自然農法、再生農業の原則と実践、エコロジー&自然資源教育、アグロフォレストリー、参加型学習行動法、ローカライゼーション、非暴力コミュニケーション、衛生管理と女性の健康、田植え、有機農業実習、石けんづくり、ホームステイ、交流会（西那須野幼稚園、大田原高校）、日本文化の日（コミュニティイベント）、コンサルテーション、夏季個人研修、HTC準備会議、第二回口頭発表会

見学研修：帰農志塾、埼玉県小川町（NPOふうど、霜里農場、風の丘ファーム、丸木美術館）

## YMCAだより

### ◇求人！求人！また求人！

人口減少社会の日本では、人材の確保が事業の可否を決定する大きな要因となっています。YMCAも例外ではなく全国のYMCAは人材獲得に躍起です（もちろんとちぎYMCAも！）。

今、総主事会議では全国規模のYMCA内人材バンクのようなもの（アムルナイ採用というんだそうで

す）の準備中です。

そのような中、茨城YMCAの宮田総主事から嬉しいお誘いがありました。

「茨城YMCAとICU（東京基督教大学）とは協力連携協定を結んでできるので、インターンの受け入れなどしてきた（就職採用成立の実績もあり）が、この度10月28日（月）午後3時から約2時間の予定で、YMCAのみの就職相談会を開催することとなりました。

含む外国人学生も含めてYMCAの就職相談会を今後このように実施していければ、クリスチャンミッションの意思のあるスタッフの確保につながると考えます」とのご提案です。

茨城YMCAからぐんま、埼玉、千葉、とちぎなど近隣のYMCAへの声掛けでしたが、10月28日に向けて全国規模（東京や横浜や西のほうからも）の就職相談会になりそうです。どこのYMCAでも必死であることがよく分かります。

とはいえ、地元がまずは第一ですので、那須ワイズ関連、みなさまの人脈方面で、よき人材にお心当たりありましたら、ぜひ！とちぎYMCAへご紹介をお願い致します。

### ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言

お休みします

### 編集後記

・ブリテンの発行が、月をまたいでの発行にならないようにしたいものです。期日を守って送ってさる原稿と期日を過ぎても原稿が来ない時、皆さんお忙しいのだからと思い待つ。それでもと思い催促する時は、申し訳ないと思います。

・新年度になりました。本部への会費の納入があります。各自の会費納入をお願いします。

・アジア学院の収穫感謝祭は、10月12日（土）13日（日）の2日間で行われます。那須ワイズのブースを出店させていただきます。ご協力をお願いします。